

# I 【ひと】すべての人が輝き、一人ひとりの希望がかなうおおいた

## <基本的方向>

若年層が結婚、妊娠・出産、子育てをポジティブに捉え、こどもを生き育てていく希望が持てる社会づくりや、生涯を通じ心身ともに健康で活力あふれる人生を送る健康長寿の社会づくりなど、自然減の急激な流れを緩和するための環境を整えます。

また、高齢者や障がい者など多様な人材が活躍でき、こどもたちが夢や希望に向かって意欲的に挑戦できるおおいたを目指します。

## <数値目標>

- 「子育て満足度日本一」総合順位 令和 11 年度目標 1 位
- 健康寿命全国順位 令和 11 年度目標 1 位
- 「障がい者活躍日本一」総合順位 令和 11 年度目標 1 位

## <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

### 1 すべてのこどもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり

#### (1) 子育てしやすい社会づくりの推進 若者・女性 担い手確保

##### ① こどもの育ちと子育ての支援

###### <サービス基盤の充実>

- ・市町村の保育定員拡大等への支援
- ・放課後児童クラブの受入児童数の拡大と利用時間延長など多様なニーズへの対応
- ・ファミリー・サポート・センター、訪問型子育て支援(ホームスタート、愛育班)、地域子育て支援拠点、こども食堂等の充実
- ・こども誰でも通園制度の導入促進

###### <人材の確保と質の向上>

- ・処遇改善や修学資金貸付などによる保育士等の確保
- ・幼児教育・保育現場でのICT活用や保育補助者等の配置促進など、働き方改革の推進
- ・県幼児教育センターによる幼児教育・保育人材の育成
- ・処遇改善などによる放課後児童クラブの支援員等の確保
- ・地域で多様な子育て応援活動を担う幅広い年齢層の人材確保・育成

###### <地域社会の意識づくり>

- ・県民みんなでこどもの成長と子育て家庭を応援する機運の醸成
- ・ポータルサイトや SNS による子育て支援情報を確実に届けるための発信強化、その利用を促す相談体制の充実

##### ② 子育て世帯への経済的支援の充実

- ・こども医療費助成や保育料減免などの経済的支援の充実
- ・児童手当、高校生等就学支援金・奨学給付金の給付

##### ③ 「共育て」と「共働き」への支援

- ・男性の家事・育児促進に向けた情報発信の強化
- ・男性の子育てへの企業・団体の理解促進と職場環境づくり支援



ホームスタート(家庭訪問型支援)



プレパパ教室

- ・育児休業や育児短時間勤務、看護休暇を取得しやすい職場環境づくりの促進
- ・病児・病後児保育の提供体制の確保
- ・女性が仕事やキャリアの形成と子育て等のライフイベントを両立できる環境づくり  
(活躍する女性ロールモデルの情報発信、テレワークに関する支援、事業所の顕彰など)

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
男性の育児休業取得率(%)	27.9%	78.0%

(2)結婚・妊娠の希望が叶い、すべてのこどもが健やかに生まれ育つ環境の整備 **若者・女性**

①結婚、妊娠・出産の希望を叶えるための支援

<若い世代への啓発>

- ・将来をイメージし自らの生き方を考えるライフデザインの啓発
- ・プレコンセプションケアや妊娠・出産に関する正しい知識の普及促進

<結婚支援>

- ・「OITA えんむす部 出会いサポートセンター」の機能強化
- ・市町村や企業・団体等と連携した結婚支援の推進



婚活イベント(知事公舎)

<妊娠・出産支援>

- ・「おおいた不妊・不育相談センターhopeful」等による相談対応の充実
- ・不妊検査・治療の経済的負担軽減、治療と仕事の両立への職場の理解促進
- ・伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施

②こどもの健やかな成長と育児不安を抱える親への支援

- ・妊婦健康診査や乳幼児健康診査の受診促進と質の向上
- ・産後ケアなど妊産婦に対するメンタルヘルス等への支援体制の充実
- ・多胎児を持つ親への助産師の家庭訪問など育児支援の充実
- ・乳幼児期の愛着を育むための医療機関や保育関係者等と連携した支援体制づくり

③周産期・小児医療提供体制の整備

- ・県内外の産婦人科医・小児科医等と連携した総合的な周産期医療提供体制の充実
- ・重症度に応じた休日・夜間の小児救急医療提供体制の確保・充実
- ・地域中核病院等における産婦人科医、小児科医確保への支援
- ・近隣に産婦人科がない妊産婦が安心して出産できる体制づくり
- ・早産や低体重児出産の予防のための妊婦の口腔ケアの啓発
- ・応急措置の助言などを行う「こども救急電話相談」の実施

④きめ細かな対応が必要なこどもと親への支援

- ・障がい児の家族への支援の充実

(相談支援、親の会活動支援、保育所等への受入れ拡大等)

- ・発達が気になるこどもを早期に適切な療育等へつなげる体制の充実
- ・県医療的ケア児支援センターによる相談・支援等の充実
- ・医療的ケア児を在宅で看護する家族のレスパイトのための訪問看護サービス等の充実
- ・難病など慢性疾患を抱えるこどもの成長に応じたフォローアップと医療費負担の軽減
- ・乳幼児期の発達支援等を就学前後で途切れさせないための関係者間における情報連携の推進



こども救急電話相談

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
出会いサポートセンター成婚数(組・累計)	197組	510組

### (3)こどもまんなかまちづくりの推進 若者・女性

#### ①安心して子育てできる住環境づくり

- ・県営住宅における子育て世帯向け住戸整備や子育てしやすい間取り・設備への改修
- ・世代間で助け合いながら子育てできる三世帯同居・近居を含めた子育て世帯の住宅リフォームの促進
- ・ライフステージに応じて間取りを変更できる住宅の普及促進



対面キッチンへのリフォーム事例

#### ②子育てしやすい周辺環境の整備

- ・こどもや子育て世帯が安心・快適に過ごせる水辺空間づくりの推進
- ・こどもが元気に遊べる遊具の導入や交流できる広場の整備、民間との連携による利便性向上など、魅力ある公園づくりの推進
- ・子育て支援施設や交流施設の整備など、支援環境の充実に向けた取組の促進
- ・ハーモニーパークやるるパーク(大分農業文化公園)等の公園をはじめ、県立図書館等の社会教育施設などの魅力向上に向けた環境整備の推進



ハーモニーパーク(日出町)

#### ③安全・安心な交通環境の整備

- ・通学路における危険箇所の解消
- ・安全で快適な歩行空間や自転車通行空間の整備

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和 5 年度)	目標値(令和 11 年度)
県営住宅の子育て世帯向け住戸整備戸数(戸・累計)	30 戸	280 戸

### (4)児童虐待の未然防止・早期対応と社会的養育の推進 若者・女性

#### ①児童虐待の未然防止・早期発見

- ・いつでも子育てほっとラインや専用 SNS による 24 時間 365 日の相談対応
- ・「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」等の集中的広報・啓発の実施
- ・子育て短期支援事業(ショートステイ等)や子育て世帯訪問支援事業など、市町村における各種子育て支援サービスの充実
- ・望まない妊娠や出産等の悩みに応じる「おおいた妊娠ヘルプセンター」の運営
- ・貧困や若年、予期せぬ妊娠などによる出産後の養育支援が必要な妊婦への対応強化

子育ての悩みを受け付ける  
本県設置のフリーダイヤル



#### ②児童虐待への早期対応

- ・増加を続ける虐待相談に確実に対応するための児童相談所の人材確保
- ・職員の専門性向上に向けた研修の充実や精神科医師に随時相談できる体制づくり、一時保護所の拡張など、児童相談所の対応力強化
- ・乳幼児短期緊急里親など、多様な一時保護先の確保
- ・市町村要保護児童対策地域協議会(要対協)を中心とした要保護児童等の見守り強化
- ・児童家庭支援センターによる地域に密着したきめ細かな相談支援
- ・市町村や警察など関係機関の専門性向上研修の充実

#### ③里親や児童養護施設など家庭に代わる養育の充実

- ・里親制度の普及・啓発活動などによる新規里親の確保

- ・里親への訪問支援やレスパイトケアなど、負担を軽減する支援の充実
- ・里親支援センターの設置に向けた民間団体の育成
- ・より家庭的な環境での養育に向けた児童養護施設や乳児院の多機能化
- ・二豊学園や愛育学園はばたきによる特に専門的な対応を必要とする子どもへの支援

#### ④家庭復帰や自立に向けた支援

- ・児童相談所による親子関係支援プログラムの実施など、児童養護施設等で養育されている子どもが安心して家庭に戻るための取組の推進
- ・「児童アフターケアセンターおおいた」による児童養護施設退所者等への支援の充実
- ・要対協での緊密な情報共有による関係機関の見守り体制の強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
家庭に代わる養育を必要とする こどものうち里親・ファミリーホームで 養育するこどもの割合(%)	39.1%	45.0%

### (5)様々な困難を抱える子どもたちへの支援 若者・女性

#### ①こどもの居場所の確保・充実

- ・子ども食堂の安定した運営の確保
- ・食事の提供や学習支援に留まらず、自己肯定感や生活習慣等の形成をサポートする児童育成支援拠点の設置促進
- ・教育支援センターや学びの多様化学校、フリースクール等との連携・協働



子ども食堂

#### ②ヤングケアラー等への支援

- ・顕在化しづらい困難を抱える子どもたちの早期発見・早期支援につなげるための社会的認知度のさらなる向上
- ・市町村や学校と連携したヤングケアラーの現況の把握
- ・いち早く気づける周囲の大人を増やすための学校や民間団体等との連携強化
- ・市町村を中心としたプッシュ型による見守り・相談体制の構築
- ・食事提供や学習支援など家庭訪問を通じて状況把握を行う児童家庭支援センター等の取組の充実

#### ③ひとり親家庭等への支援

- ・県母子・父子福祉センターによる子育ての悩みや不安、生活等の相談・支援
- ・県母子家庭等就業・自立支援センターによる就業支援
- ・児童扶養手当、医療費助成等による経済的支援
- ・母子・父子・寡婦福祉資金の貸付
- ・各種支援策を確実に届けるための広報・周知強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
「自分にはよいところがあると思う」と 答えたこどもの割合(中学3年生)(%)	78.8%	85.0%

## 2 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

### (1) 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進 担い手確保 持続的発展

#### ① 確かな学力の育成

- ・資質・能力の3つの柱を育成する「楽しくて力の付く授業」の追求
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
- ・ALTや県内大学の留学生等を活用した外国語教育の充実
- ・補充学習等による個別指導、家庭学習指導の充実
- ・1人1台端末やデジタル教科書の活用による指導方法等の改善
- ・組織的な授業改善を進めるカリキュラム・マネジメントの充実



1人1台端末を活用した「総合的な探究の時間」

#### ② 豊かな心の育成

- ・道徳性を養うための要となる「特別の教科 道徳」授業の充実
- ・鑑賞活動等を通じた豊かな創造性の育成や伝統・文化等に関する教育の充実
- ・学校・家庭での読書活動や図書館の利活用推進、自然体験や集団宿泊体験など体験活動の充実

#### ③ 健やかな体の育成

- ・学校体育の充実や運動の習慣化・日常化の推進
- ・学校給食を通じた食育や生活習慣改善、むし歯予防対策の推進
- ・薬物乱用防止や性に関する課題への対応など学校保健の充実

#### ④ 幼児教育の充実

- ・各種カリキュラムの作成・活用促進等による小学校教育との円滑な接続の推進
- ・幼・保・認定こども園の教職員の資質・能力向上研修の充実

#### ⑤ 高校教育の充実

- ・学校の理念等(スクール・ミッション)の明確化や教育活動の指針(スクール・ポリシー)に基づく資質・能力の育成
- ・県内どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばすことのできる遠隔教育大分モデルの確立による多様で質の高い学びの機会の提供と地域の高校の魅力向上
- ・新時代に対応した学科再編や企業と連携した課題解決型学習の充実など、魅力・特色ある選ばれる学校づくりの推進、魅力等の発信による学校の認知度向上



高等学校における遠隔授業

#### ⑥ 特別支援教育の充実

- ・障がいのある子どもたちのニーズに応じた多様な学びの場の充実・整備
- ・就労支援の充実、学校における医療的ケアの実施体制構築などの取組推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
県立高校における 専門学科の定員充足率(%)	90.4	95

### (2) 社会の変化に対応する教育の展開 若者・女性 担い手確保

#### ① イノベーションを担う人材の育成

- ・STEAM教育やESD、総合的な探究の時間など、実社会や実生活の課題解決に向けた教科等横断的な学習の充実

- ・ICT端末の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラルなど、情報活用能力の育成
- ・企業等と連携した学校外での学びの機会、プレゼンテーションコンテストなど、児童生徒が切磋琢磨し能力を伸長する機会の充実
- ・O-Laboをはじめとした小・中学生向け科学体験活動等の充実

### ②グローバル人材の育成

- ・グローバルリーダー育成塾の開催など、こどもたちがグローバル人材に触れる機会の充実
- ・海外トップレベルの大学等との連携による世界をリードする人材の育成
- ・ALTや県内大学の留学生を活用した異文化理解等による多様性を受け入れ、協働する力の育成
- ・芸術教育や道徳教育など、学校教育活動を通じた大分県や日本への深い理解の促進
- ・英語力4技能(聞く、読む、話す、書く)の育成強化

### ③主体的に社会の形成に参画できる人材の育成

- ・社会見学(小学校)、職場体験(中学校)、インターンシップ(高等学校)など、各学校段階に応じたキャリア教育の推進
- ・地域の職業人から職業観について直に学ぶ機会の充実など、地域産業界との連携強化
- ・新たな価値を生み出していく精神(アントレプレナーシップ)を備えた人材の育成
- ・自立した主権者を育成する体系的・系統的な主権者教育の推進
- ・消費者として主体的に判断し責任をもって行動できる力を育成する消費者教育の推進



地域産業界の協力による  
インターンシップ

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合(%)	小学生:80.4% 中学生:64.8%	小学生:84.0% 中学生:70.0%

## (3)安全・安心で質の高い教育環境の確保 若者・女性 持続的発展

### ①いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフを活用した「チーム学校」による組織的対応の徹底と関係機関との連携強化
- ・1人1台端末の活用による心の健康観察・教育相談の実施
- ・各学校の教育相談体制の充実や「人間関係づくりプログラム」実施の推進
- ・校内教育支援ルームやスタディサポートクラブ(補充学習教室)での学習、ICTを活用した家庭学習など、不登校児童生徒の個に応じた効果的な支援の充実
- ・教育支援センターや学びの多様化学校、フリースクール等との連携・協働

### ②安全・安心な教育環境の整備

- ・学校の立地環境など、地域の実情に応じた防災教育の推進と学校における危機管理の徹底
- ・登下校時の見守り活動など、地域と協働した防犯対策の推進
- ・学校安全に係る研修の充実による教職員の知識習得と意識啓発
- ・部活動中の安全管理、登下校中の事故防止対策等の徹底
- ・経済的理由により修学が困難な高校生への支援の充実
- ・外国人児童生徒に対する小中学校等での日本語指導の充実
- ・様々な事情により学校に通えなかった方へ義務教育の機会を提供する「夜間中学」の設置に向けた取組の推進

・建築後 30 年、60 年を経過する学校施設の大規模改造工事による長寿命化など施設整備の推進

③DXの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・学習履歴(スタディ・ログ)など教育データの分析・利活用によるこどもの習熟度に応じたきめ細かな教育の展開
- ・AIを活用した校務や授業の効率化など、学校現場における先端技術の利活用の促進
- ・遠隔教育システムの導入による生徒の適性や興味・関心等に応じた多様な学びの機会の充実
- ・1人1台端末の着実な更新など、情報環境整備の推進



生成 AI の活用に取り組む高校の様子(文部科学省指定校)

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和 5 年度)	目標値(令和 11 年度)
授業でICT機器をほぼ毎日使用している小・中学校の児童生徒の割合(%)	26.4%	69.0%

(4)信頼と対話に基づく学校運営の実現 **若者・女性** **担い手確保**

①学校マネジメントを活用した組織的な取組の推進

- ・学校マネジメントの活用による学校が抱える教育課題の解決に向けた取組の強化
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフを活用した「チーム学校」による組織的対応の徹底と関係機関との連携強化
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進によるこどもの体験活動の充実や地域活動の活性化
- ・「おおいた教育の日」を契機とした学校と家庭・地域が連携した取組の充実

②教育指導体制の充実・強化

- ・教員採用選考試験の見直し・改善、教職員の魅力発信等による優秀な人材の確保
- ・教職員研修、広域人事異動、教職員評価システムなどを通じた人材育成の推進
- ・教育課題の解決に向けて資質能力を十分に発揮できる適材適所の人事配置
- ・校務環境の整備や業務改善等による働き方改革の推進 (AIの活用や部活動の地域移行等による負担軽減・業務効率化)
- ・教職員の心身の健康保持・増進や子育てしやすい環境の整備



教員の ICT 研修

③魅力ある私立学校づくりへの支援

- ・学力の向上やキャリア教育、看護・調理・美容といった特色ある学科の設置、スポーツ・文化活動の推進など、学校の魅力を高める取組への支援
- ・教育相談体制の整備など、いじめ・不登校対策への支援
- ・ICT機器や周辺機器等の導入など、教育環境整備等への支援
- ・保護者の経済的負担軽減などの修学支援の強化
- ・理工系人材育成等の特色ある私立学校づくりの支援

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和 5 年度)	目標値(令和 11 年度)
「地域とともにある学校」づくりの推進に向けて体制が整っている小・中学校の割合(%)	56.6%	100.0%

(5)共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 **担い手確保** **持続的発展**

①生涯学び、活躍できる環境の整備

- ・地域の学習拠点としての公民館・図書館などの機能強化
- ・社会人の学び直しや障がい者の生涯学習などの機会充実
- ・学習プログラムの活用、指導者の養成など人権学習の充実
- ・自身の学びの成果を地域活動に活かすための講座の充実、学んだ成果を地域活動に還元できる機会の拡大
- ・生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」等を活用した情報発信の強化

②地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・「協育」ネットワークの取組に参画する人材の掘り起こし
- ・学校・家庭・地域の連携協働によるこどもへの体験や学習の場の提供
- ・保護者への学習機会等の充実による家庭教育支援の推進
- ・地域のクラブや団体等との連携による学校部活動の地域移行の推進



地域学校協働活動「田植え体験」

③健全で心豊かな青少年の育成

<豊かな人間性を育む環境づくり>

- ・「大分県少年の翼」の実施など、学校外での体験活動の充実
- ・地域ぐるみのあいさつ運動など「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の推進
- ・インターネット利用に関する「家庭のルールづくり」の促進

<困難を抱える青少年や家庭への支援の充実>

- ・「子ども・若者総合相談センター」等における不登校やひきこもり、その家族等に対する相談・支援の充実
- ・社会的自立に向けて活動するための居場所づくりの推進
- <少年非行防止対策や福祉犯の取締り等の推進>
- ・スクールサポーターを活用した学校と警察の連携強化
- ・大分っ子フレンドリーサポートセンターを中心とした少年の立ち直り支援活動の推進
- ・児童ポルノ事犯など、少年の福祉を害する犯罪の徹底検挙と被害少年への支援

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数(万人)	11.1万人	11.7万人

**3 健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供**

(1)みんなで進める生涯を通じた健康づくり **持続的発展**

①県民総ぐるみの健康づくり運動と社会環境の整備

- ・「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間(10月)など県民運動の推進
- ・「うま塩プロジェクト」や「まず野菜、もっと野菜プロジェクト」の推進
- ・食育教室における健康的な食生活の指導など、健康づくりのための食育の推進
- ・歯科定期健診の習慣化など、県口腔保健支援センターを核とした全世代の歯・口腔の健康づくり
- ・健康アプリの活用や都市公園の園路等の充実による運動習慣の定着支援



- ・健康経営事業所など企業との連携による働く世代の健康づくり
- ・受動喫煙防止対策の推進
- ・指標を活用した市町村の健康課題の解決支援
- ②生活習慣病の予防と早期発見
  - ・特定健診や特定保健指導、がん検診の受診率向上
  - ・特定健診やがん検診等における WEB 予約システムの導入・運用
  - ・ICT を活用した遠隔特定保健指導等の導入・実施
- ③糖尿病性腎症を含む慢性腎臓病の重症化予防
  - ・腎臓病早期からの介入による新規人工透析患者数の抑制  
(県医師会、大分大学との連携協定に基づくかかりつけ医と専門医による患者支援の強化)
- ④高齢者の活躍、社会参加の推進
  - ・高齢者の生きがいづくりや健康づくり、子育て支援や通いの場など地域活動への参画促進
  - ・高齢者が働きやすく、培った知見を活かせる雇用環境の整備
  - ・老人クラブへの加入促進や後継リーダー育成、休会・解散クラブの活動再開支援
  - ・「豊の国ねりんピック」などスポーツや芸術文化活動の機会確保
- ⑤介護予防の推進
  - ・通いの場における介護予防やフレイル対策のさらなる推進
  - ・通いの場の多様化と魅力向上  
(従来からの体操のほか、e スポーツ、口腔機能向上、認知症予防など多様な活動の普及)
  - ・短期集中予防サービスの利用促進
- ⑥総合的な自殺対策の推進
  - ・電話、メール、SNS などによる傾聴を中心とした相談支援
  - ・異変を察知できる身近な支援者となる「豊の国こころの“ホッ”とサポーター」の養成
  - ・生活困窮、児童虐待、ひきこもり、性暴力被害、性的少数者など、様々な分野で支援に携わる関係機関が連携した総合的な自殺対策の推進



短期集中予防サービス

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和 5 年度)	目標値(令和 11 年度)
平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均) (歳)	男性:80.10 歳 女性:84.60 歳	男性:81.89 歳 女性:85.64 歳

## (2)安心で質の高い医療の確保 **持続的発展**

- ①安心で質の高い医療提供体制の確保
  - ・地域医療構想に基づく医療機能の分化・連携による切れ目ない医療提供体制の確保
  - ・医療・介護に携わる多職種連携による在宅医療提供体制の充実
  - ・地域医療情報ネットワークと国が創設を進める「全国医療情報プラットフォーム」との連携、オンライン診療などを活用した診断・治療支援
  - ・無医地区巡回診療や代診医派遣、へき地診療所等の確保
  - ・人生の最終段階における本人の希望に沿った医療・ケアの提供、人生会議の普及・啓発
  - ・県内の国民健康保険税水準の統一、県と市町村が一体となった安定的な国保運営
- ②医療従事者の確保・育成
  - ・大分大学医学部地域卒業医師や自治医科大学卒業医師の医師不足地域への派遣及び県内定着の推進
  - ・産婦人科医・小児科医など、地域で不足している診療科の医師確保

- ・プラチナナースや潜在看護師の再就業促進
- ・医師から他職種へのタスクシフトの支援、就労環境等の改善や人材育成に意欲的に取り組む医療機関を認証する「大分ホスピレート」などによる医療機関の働き方改革の推進
- ・地域連携薬局の推進に向けた薬剤師の確保・育成

### ③救急・災害医療提供体制の確保

- ・病状に応じた救急、小児救急医療提供体制の確保
- ・救急安心センター（#7119）など地域における救急医療提供体制の確保
- ・ドクターヘリの運航など迅速な広域救急医療体制の確保
- ・夜間・休日における精神科救急医療体制の確保
- ・災害拠点病院や災害拠点精神科病院、災害医療コーディネート体制の確保



DMAT(災害派遣医療チーム)訓練の様子

### ④がん・難病患者等への医療及び支援の充実

- ・患者本位で持続可能ながん医療の提供
- ・難病診療連携拠点病院を核とした早期・正確な診断の推進、指定難病患者への医療費助成
- ・県難病相談・支援センターとハローワークなど他機関との連携強化
- ・循環器病の予防・医療提供体制の充実

### ⑤県立病院のさらなる機能強化

- ・高度・専門医療、新興感染症や精神医療など政策医療の機能強化・充実
- ・チーム医療の推進など良質な医療提供体制の確保と患者ニーズへの対応
- ・地域の医療機関や介護施設等との連携体制の確保
- ・経営基盤の強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
地域中核病院の医師充足率(%)	94.9%	100.0%

## (3)高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアの充実 **担い手確保**

### ①地域包括ケアの基盤づくりの推進

- ・見守りや安否確認、掃除、買い物等を地域住民や多様な主体が支える取組のさらなる推進
- ・市町村が実施する地域ケア会議の充実・強化
- ・県営住宅のバリアフリー化など、高齢者が安全・安心に暮らせる住まいの確保
- ・介護サービス基盤の整備、在宅医療・介護連携の推進
- ・要介護者に対応できるかかりつけ歯科医の育成
- ・ICTを活用した自立支援型ケアマネジメントのさらなる推進
- ・自立支援型サービスを実践する事業所の育成、優良事業所へのインセンティブ付与

### ②介護人材の確保と質の高い介護の実践

- ・処遇改善等による若者や潜在的有資格者など、幅広い人材の参入促進
- ・働きやすくやりがいのある介護事業者の認証による介護の仕事の魅力発信
- ・ノーリフティングケアの普及促進、介護ロボットの導入、ICTを活用した業務効率化等による介護DXの推進
- ・外国人介護人材の受入れ拡大と定着促進
- ・市町村や介護事業者、関係団体等との連携強化



離床センサーと接続した見守りシステム

### ③認知症施策の推進

- ・認知症の正しい理解の普及啓発、認知症当事者が発信する機会の拡大
- ・通いの場での認知症予防プログラムの実践、認知症予防研修会の開催
- ・認知症疾患医療センターを核とした早期診断・早期対応の体制整備
- ・大分オレンジカンパニー(認知症にやさしい企業・団体)登録制度の運用
- ・認知症カフェの活動促進など、認知症当事者とその家族等への支援
- ・若年性認知症に関する相談支援の充実
- ・地域や企業における認知症バリアフリーの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
大分県認証評価制度「ふくふく認証」 認証法人数(法人・累計)	16 法人	110 法人

## 4 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり

### (1)障がい者の希望や特性に沿った就労・自立支援 **担い手確保**

#### ①障がい者の就労・定着のための支援の充実

- ・障害者就業・生活支援センター等を活用した相談支援体制の充実
- ・定期情報誌の発行や研修会等を通じた事業者の理解促進
- ・雇入れ体験の実施等による障がい者と事業者の不安解消
- ・障がい者雇用アドバイザーによる雇用促進、職場定着の推進
- ・企業の人事担当者間のネットワーク構築
- ・就労継続支援事業所への支援等を通じた一般就労への移行促進
- ・県や市町村における知的及び精神障がい者の雇用機会の拡大
- ・さくらの杜高等支援学校のセンター的機能を活用した特別支援学校の職業教育の充実
- ・就労継続支援事業所の地域産業への参入や業務拡充の促進



定期情報誌「ともにおもに働く」  
(発行:大分県)

#### ②障がい者の工賃向上のための支援の充実

- ・「おおいた共同受注センター」による受注・販路拡大
- ・就労継続支援事業所職員の育成や事業所の経営力強化への支援
- ・アグリ就労アドバイザーによる栽培技術指導や農業団体からの受注促進等による農福連携の推進
- ・障害者就労施設等からの県・市町村による優先調達への推進、企業による物品等発注の促進
- ・施設外就労など多様な働き方の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
雇用障がい者の実人数(人)	3,007 人	3,189 人

### (2)障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援 **担い手確保**

#### ①共生社会実現に向けた理解促進と権利擁護

- ・障がいに対する県民理解の促進、合理的配慮の提供に係る企業・団体への啓発
- ・県障がい者差別解消・権利擁護推進センターによる相談支援

#### ②障がい者支援サービスの充実

- ・居宅介護、生活介護、就労継続支援など、地域生活に必要なサービス提供体制の充実
- ・介護ロボットやICTを活用した働きやすい職場環境の整備

- ・働きやすくやりがいのある障害福祉サービス事業者を認証する制度の創設、運営
- ・発達障がいになるこどもを早期に適切な療育等へつなげる体制の充実
- ・発達障がいや高次脳機能障がい、強度行動障がいのある人への支援
- ・県医療的ケア児支援センターによる相談・支援等の充実
- ・医療的ケア児を在宅で看護する家族のレスパイトのための訪問看護サービス等の充実
- ・「親なきあと」を地域全体で支える体制の強化
- ・県口腔保健センター等による障がい者歯科診療体制の確保

### ③地域生活への移行促進

- ・一人暮らしのサポートやグループホームなどの住まいの場の確保による地域生活支援
- ・主体的な自立生活を支える相談支援体制の強化
- ・地域移行・地域定着を支える人材の確保・定着と専門性・資質の向上
- ・医療と地域が連携した精神科病院入院患者の退院支援と地域定着の推進



グループホームからの出勤の様子

### ④社会活動への参画促進

- ・ICT機器の使い方体験会の開催等による情報アクセシビリティの向上
- ・県立図書館における電子書籍や大活字本、録音図書等のアクセスしやすい書籍の提供や点字図書館の運営支援
- ・障害福祉サービス事業所等でのピアサポート活動の推進
- ・宿泊施設、公共交通施設、公共車両及び都市公園施設等のユニバーサルデザインの推進
- ・芸術文化・スポーツに触れ親しむ機会の充実

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
グループホーム利用者数(人)	2,421人	2,966人

## 5 女性が輝き活躍できる社会づくり

### (1)女性が輝き活躍できる社会づくり **若者・女性**

#### ①働く場における女性の活躍(女性活躍応援県おおいた)の推進

- ・女性活躍推進宣言企業の拡大や女性活躍応援県おおいた認証企業制度の普及促進
- ・キャリアコンサルタント等の派遣や企業のトップ・管理職に対するセミナーの開催等を通じた企業の女性登用の促進
- ・産学官連携によるスキルアップ研修の開催など、女性の継続就労やキャリアアップへの支援
- ・女性の活躍を推進している事業所の表彰、取組事例や女性のロールモデル等の紹介
- ・経済団体と連携した「女性が輝くおおいた推進会議」による機運醸成



女性のロールモデル紹介  
(建設産業で活躍する女性)

#### ②安心してこどもを生み育てながら働ける環境づくり

- ・男女が共に家事、子育て等に参画する社会環境づくりや企業等への意識啓発の充実
- ・育児休業や育児短時間勤務、看護休暇を取得しやすい職場環境づくりの促進
- ・病児・病後児保育の提供体制の確保
- ・世代間で助け合いながら子育てできる三世代同居・近居を含めた子育て世帯の住宅リフォームの促進
- ・ひとり親家庭に対する生活・就業等の相談・支援

- ③男女共同参画の視点に立った意識改革と様々な分野での女性の参画促進
- ・啓発動画などを活用した固定的な性別役割分担意識の解消
  - ・県の審議会や自治会など、団体や地域における政策・方針決定過程への女性の参画拡大
  - ・防災や地域づくりなど、様々な分野における女性視点を活かした取組への支援  
（「女性の視点からの防災パンフレット」の活用促進など）
  - ・女性に対するエンパワーメント等を通じた社会参画の促進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
女性活躍推進宣言企業数(社・累計)	332社	542社

## 6 すべての人の人権が尊重される社会づくり

### (1) すべての人の人権が尊重される社会づくり 若者・女性

#### ①多様な価値観を認め合う社会づくりの推進

- ・様々な分野における人権課題に関する教育・啓発の推進
- ・小・中・高等学校等における人権課題についての計画的な学習の推進
- ・県職員の人権研修の充実と市町村職員研修への支援
- ・人権尊重社会づくりに取り組む県内の個人・団体の顕彰



大分県人権啓発イメージキャラクター  
「こころちゃん」

#### ②あらゆる差別解消の推進

- ・関係機関と連携した人権問題の相談支援体制の充実
- ・人権尊重社会づくりに取り組むNPO等の活動支援
- ・パートナーシップ宣誓制度の周知・啓発やSNS相談窓口の開設、交流の場づくりなど、性的少数者への支援強化
- ・プライバシーの侵害や誹謗中傷など、インターネットやAIによる人権侵害への対応

#### ③部落差別解消の推進

- ・部落差別解消推進法を踏まえた諸問題解決に向けた取組の推進
- ・市町村の隣保館活動への支援や連携した教育・啓発の実施
- ・企業や団体等の公正採用確立などに向けた研修の強化

#### ④暴力やハラスメントの根絶に向けた取組の推進

- ・女性に対する暴力やハラスメントを予防し、根絶するための広報・啓発活動の推進
- ・DVに対する相談・保護・自立支援体制の充実
- ・おおいた性暴力救援センター「すみれ」による性暴力・性犯罪被害者支援の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(令和5年度)	目標値(令和11年度)
企業・団体等が行う人権啓発研修への講師等派遣件数(件)	147件	165件